

五頭山遭難(2018年5月)

小学校1年生と父の親子遭難。残雪もあり登山道ではなく、残雪が道に見えたのだろうか？残念ながら行方不明から24日後に遺体で発見された。



解説

幼い小学1年生と父親の遭難。二度と起きてほしくない悲しい結末となってしまった。ご冥福をお祈りいたします。

松平山～五頭山の道は標高900mとはいえ、新潟県の5月は残雪がある。小学校1年生の子供と一緒に歩けば、道らしい道を歩くとされるが雪解けの道は分かりづらく残雪が道に見えてしまったのだろうか？

行方不明の夕方、携帯電話で家族にビバークすると連絡があり、翌日7時ごろ「これから下山する」と連絡があり、それが最後になった。

①ビバークした時点で遭難の認識をする。②携帯電話が繋がった時点で明確な救助を求める。(地図アプリをスマホにインストールし現在地点を緯度経度の座標軸数値で連絡する。)③下り過ぎたのならば、できる限り来た道に戻る。(戻れないならば動かない。体力を使わない。)④沢を下らない。

「あれっ？おかしい？」と思ったときの初動が結末のすべてを決定する。一人でも少ない道迷い遭難を願っている。